

□麻酔科 ストレートコース カリキュラム

手術室では、各科各種類の手術が行われており、年間約4,100例の全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔の術中管理を行っている。ペインクリニック、ICU は主に呼吸管理を行っている。

日本麻酔学会(指導医3名、専門医1名、標榜医3名)、日本集中治療医学会(認定医2名)の認定指導施設である。ジュニアレジデントの4カ月間麻酔科研修は必須である。現在麻酔科ストレートコースは1名。

一般目標:

臨床麻酔一般に精通し、各科各種手術の麻酔に対応できるようにする。日本麻酔科学会専門医と認定されることを目標とする。また、ペインクリニック、ICU と仕事の幅を広げることにも可能である。

個別目標:

- 1) 術前診察により、手術患者の評価を正しく行い、麻酔法、術中の全身管理法の計画を立てる。
- 2) 各種麻酔法の大要を患者に説明し、各患者に対応した麻酔法を選択することができる。
- 3) 麻酔に必要な以下の基本的手技を正しく施行することができる。
 - a) 静脈路の確保
 - b) 気道の確保
 - c) 人工呼吸
 - d) 気管内挿管
 - e) くも膜下腔穿刺
 - f) 硬膜外穿刺
 - g) 各種神経ブロック
 - h) 動脈穿刺、動脈内カテーテル留置
 - i) 中心静脈(内頸静脈、鎖骨下静脈)穿刺
 - j) Swan-Ganz カテーテルの挿入
- 4) 全身麻酔薬、局所麻酔薬、筋弛緩薬を正しく使用することができる。
- 5) 手術患者の呼吸、循環管理を行うことができる。
 - a) 各種生体監視装置を正しく使用することができる。
 - b) 各種生体監視装置から得られる情報を正しく理解することができる。
 - c) 各種人工呼吸器を正しく使用することができる。
 - d) 血液ガス分析値を正しく解釈することができる。
 - e) 呼吸、循環作動薬を正しく使用することができる。
 - f) 体液、電解質、酸塩基平衡異常を補正することができる。

- 6) 術後疼痛に対して、鎮痛薬の投与、各種神経ブロックを正しく施行することができる。
- 7) 各種臓器機能不全の患者の全身管理を施行することができる。
- 8) 重症救急患者に対する初期診療、心肺蘇生法を正しく施行することができる。
- 9) 術前診察記録、麻酔記録、術後経過記録を正しく記載することができる。
- 10) 麻酔科研修中のジュニアレジデントを指導ができる。

研修方法とスケジュール

- 1) 初期3カ月はジュニアレジデント麻酔科研修プログラムに沿って臨床麻酔に従事する。
- 2) 7カ月目より、ジュニアレジデントの指導も行う。
- 3) 7カ月目よりスタッフと共に宅直する。
- 4) スタッフの指導のもと胸部外科、心臓外科の麻酔に優先的に従事する。
- 5) 2年目よりペインクリニックにて各種神経ブロックを行う。
- 6) ICU 研修は、心臓外科の麻酔に従事するようになってから始める。
- 7) 研修期間中に関連他科の研修を受けることができる(6カ月間)。但し、他施設で初期研修を受けた者は1年目に総合病棟で2~4カ月間研修する。
- 8) できるだけ早く、麻酔科標榜医、麻酔科専門医試験を受験する。
- 9) 症例報告、臨床研究の成果を下記の学会で発表する。

日本麻酔科学会総会、日本麻酔科学会関西地方会、日本臨床麻酔科学会総会、日本蘇生学会、日本ペインクリニック学会、日本集中治療学会、近畿麻酔科医会症例検討会、奈良県麻酔部会

週間スケジュール:

反省会兼麻酔前検討会 1回/週

